



こんにちは

# 村田 けい子で

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。 090-9144-8534

14485349 発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)286

2019. 6. 28  
No. 208

## 街角から 公共交通についての意見交換会 6. 24, 26

役場企画課主催で2回にわたり、「公共交通網形成計画施策実施案」について、住民への説明と意見聴取を目的として、意見交換会が行われました。この案は、2月22日に役場会議室で素案が示され意見聴取、(20人ほど参加)その後、6月20日議会全員協議会にざっくりと説明された概要版が住民にも示された形です。住民からの意見をお知らせします。(スマイル交通は平成21年10月より運行)

用意された資料は、主としてスマイル交通についての利用者数の推移や、バス利用者からの聞き取りの内容、アンケートの傾向、住民懇談会・観光協会や運行業者からのヒヤリングの内容が説明された後、来年度2020年4月からの「変更方針案」が示されました。町の計画では、2回の説明・意見交換会の後、9月にもう一度住民から意見を聞き、周知期間を経て、来年から実施したい意向が示されました。(概要版は役場企画課の窓口)。

その後、住民からの質問・意見交換が行われました。会場には、地元区長その他、役場担当課、コンサルタント会社の社員2名、住民が参加。 担当は役場企画課 ☎(88)8403

【変更案】バス3台の台数を増やさないことが前提となっているため、「これが改善か？」と思うような内容になっています。

- 1、運行日数について・・・平日運行の幹線ルートと地域を廻るご当地ルートの2運行にする。シラカバ線は現行通り。
  - ① 通勤・通学の足として毎日利用する人のために、**幹線**ルートを新設。月から金まで運行。土日は休み。
  - ② 西南回り線 月・水・金 の3日のみ。 土日は休み。
  - ③ 東南回り線 火・木・土 の3日のみ。 日は休み。
  - ④ シラカバ線については、毎日運行のまま。ルートも変更なし。

2、②③については運行日数を減らす代わりに、「一日当たりの便数を増やす」としています。

まだ、詳細の時間割が決まっていますが、  
①幹線ルート 毎日10便(3便以上増加)。ツルヤには午前2便・午後2便が立ち寄り、およそ1時間の滞在で次の便が利用できるとしています。

②・③とも 毎日7便(現在よりも1~2便増)。ツルヤには午前2便・午後2便が立ち寄り、およそ1時間の滞在で次の便が利用できるとしています。

【改定に当たって留意したこと】

- ・空車で走る便を減らしたい。
- ・効率的な運行

《幹線ルート》

- ・現状で利用が多いバス停を主に結ぶルート設定
- ・西回り線の1便2便を幹線ルートで確保。

《ご当地ルート》②③

- ・現在のルートを中心に、幹線ルートが通過しないバス停を主に経由するよう設定。
- ・1台のバスで②③を運行。
- ・所要時間をほぼ同様とする。(時間は示されず)

モデル案として、  
①ツルヤへの滞在時間をおおむね1時間とし、また1時間に1本は立ち寄れるようにする予定。  
②権現の湯利用者が利用後帰宅する便数を、これまでの3便から5便(最終18:00)に増やす予定。

ウラへつづく

## 今年も出ました ! オニヤンマ 一度に3匹確認 6.23

今週のパチリ



6.23から帰った夫が「オニヤンマが出たとRさんが言っていたよ」との情報で、すぐにお宮に駆けつけると、目印の棒が3本。今脱皮したばかりで羽を乾かしているものと、すでに抜け出しカラとなったもの2つを発見。

朝早く、水中からはい出し、4、5時間かけて羽化して、その後、羽が渴き、ピンとするまでじっとその場所にとどまっています。

これまでも乾かしている間にクモに食べられたり、鳥に見つかったり、羽を十分に伸ばす余地がなくて息絶えたり。空に飛び立つまでには、運も必要です。頑張れトンボ達!



## 【蓼科区集会所での意見】

スマイル交通シラカバ線については、基本的に変化はないので、住民から改善要望が多く寄せられました。

変更点は、シラカバ線の増発便に合わせて、**白樺湖から女神湖経由、長門牧場までのシャトル便**を出すことが提案されました。

・平日はスクールバスとして、休日(土日祝日)は観光客の利用がある。

・シラカバ線はスクールバスと住民の生活バスと観光客の誘客促進と3つの利用形態があるので、それぞれのニーズに合わせた改善策をすり合わせて、理想の形ができないか。

・山から佐久市へ通学する場合、望月ー立科間の接続が悪く、望月まで子供を迎えに行かねばならない。あまり待たなくても山へ帰る便ができないか。

・「東白樺湖」のバス停を「ローソン前」に変更すれば、寒い冬の日には中で待っていられる。(観光客も含め)

・バスの増発便は9月で終了だが、10月は紅葉がきれいなので、ぜひ10月まで延期してほしい。



・スクールバスの通学定期代が保育園は年間2,000円、小学生6,000円、中学生2.4万円もかかる。長和町は補助があり無料だ。町の補助をさらに増やして。

・白樺湖付近のこども達は、茅野市の北山小学校へ通っている。立科町の子どもは立科小・中へ通えるように改善すべきでは。(北山小迄スクールバスが出ている)

・「立科町役場行」を「女神湖・白樺湖・立科町役場」の表示にして、観光客に分かりやすく。

・QRコードを読めば、時刻表が判るようにしたらどうか。

・ツルヤに行く前に、柳澤医院や歯医者を通るようになってもらえないか。

苦心の跡がみられる改定案ですが、バスの台数を変えないため、利用の多いバス停を結ぶ新ルートでバス1台を確保すると、②③のご当地ルートはそのとおりで、曜日運行になります。

①私は、「公共交通網形成計画なので、スマイル交通だけでなく、乗り合いデマンドタクシーの導入調査や、佐久市にある病院までのアクセス確保のためのバス便の改善を、広域行政の中で、ぜひ検討すべきであること」を意見として申し上げました。

②参加された区長方より、町のこの素案について、「町の責任で各地域に出向いて説明会を開き、よくわかるように説明をしてもらうこと」「町民から意見を聴取すること」が要望として出され、町もその方向で取り組むことが表明されました。

東御市では、朝夕は通勤・通学用に定時定路線のバス運行で、昼間は30分ごとの乗り合いデマンドタクシー制度を採用しています。

## 【町役場会議室での意見】



改善点と思われることは

- ①安全が確保できれば、フリー降車ができる。
- ②権現の湯利用者などと連携し、割引サービスの導入。
- ③スマイル交通と他の交通機関との乗継に割引制度の導入。
- ④一日乗車券などの割引制度導入。

【住民の意見は】

Q 曜日運行になり、バスの走らない日に役場で会議があったら、迎えに来てくれるのか。ゲートボール大会などの送迎はしてもらえるか？



A, 特定健診などは担当課職員が送迎している。役場の会議・イベントなどはスマイル交通利用者には、基本的には担当課が責任を持つが、職員が担当するよう、今後役場幹部会で議論したい。

Q、蟹原地区は、スマイル交通のルート外だが、以前とは状況が変わり送迎する家族がいなくなる(少なくとも3世帯)など、ニーズが高まっている。蟹原もスマイル交通のルートに入れてほしい。集会所前から桐原地区に抜けるルートの新設を。現在の利用率は高くないが、これから大変になっていく。

A デマンドタクシーの対象地区となっている。600円で利用を。

Q. デマンドタクシー料金は高いという声がある。利用は増えているのか。年金者には600円は高い。障害1, 2級者は良いが3級者はキツイ(障害年金の額のことか)

A, 年間登録者が14人からH30年は41人に、H31年は50人を超えた。今年4月以降月60回の利用がある。

・高齢者がひきこもりにならないためにも、スマイル交通を利用しやすくしてほしい。年金者が多いので、料金が低いのは困る。



・スマイル交通が無くなったら困る。普段関心を持たない人が、交通問題には自分事として強い関心を持っている。地域の声を拾い上げる努力が必要。

・3月に素案が示され、その時に、曜日運行に否定的な意見が出たのに、4か月たっても同じような案となっている。その間に部落長・区長に説明したのか。住民から意見を聴いたのか。



【ルートについて】

Q, 古町区長: 岩下医院まで来ているが「ハートフル」まで回らないのか。

Q, 西塩沢の住民: 現在のバス停まで1kmもある。利用できないルート設定で利用が少ないから減らす、というのはおかしい。使いやすいように変えるべきだ。バス停を作って乗れるようにしてほしい。大勢に利用してもらえるように、集落の4班5班も廻るようにしてほしい。

A, 要望が出されたので検討したい。

概略を記しました。20人程の参加者からでも様々なご意見が寄せられました。「免許を返上しても暮らしていける町」をつくるためには、どういう形態が良いのか、専門家の力も借りながら、改善案を皆で考えていきたいと思えます。ご意見をお寄せください。



【訂正します】前号で

- ①「永久戦犯」は「A級戦犯」の間違い。
- ②「全国初」正副女性議長は「長野県初」
- ③「市民交流センター」は「佐久市民交流センター」です。ご指摘ありがとうございました。